

# 放課後等デイサービス支援員の実践力向上研修（基礎基本編）

## ～ 支援をデザインするとは？ ～



右のQRコードから  
左のページの表示を  
お願いします。

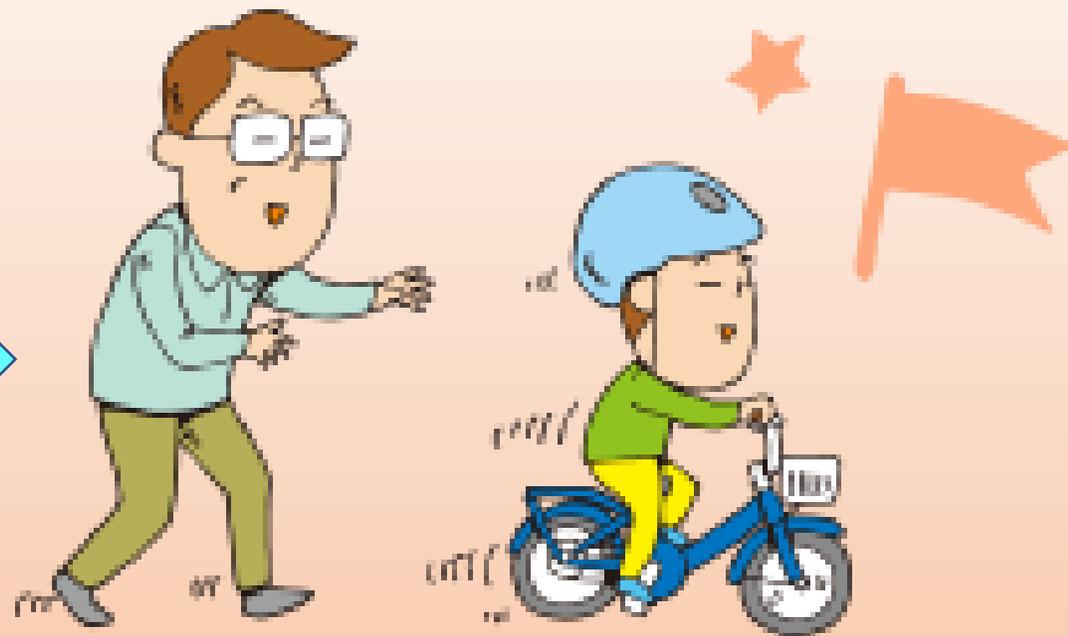
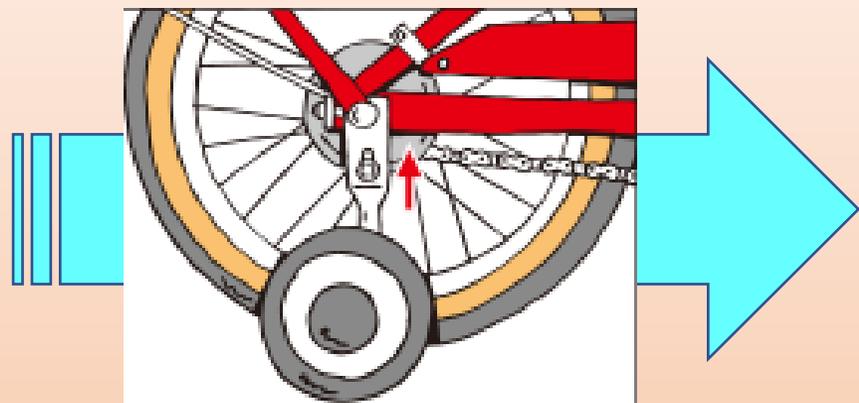
叶 R5.10.13



サンクスシェア  
代表社員 相談支援専門員 田中 聡



# 私たちがおこなう支援とは…



支援 = 補助輪  
つけ



補助輪  
はずし



ひとりでできる

支援の量

# 支援を考える2つの理論

## A (状況)

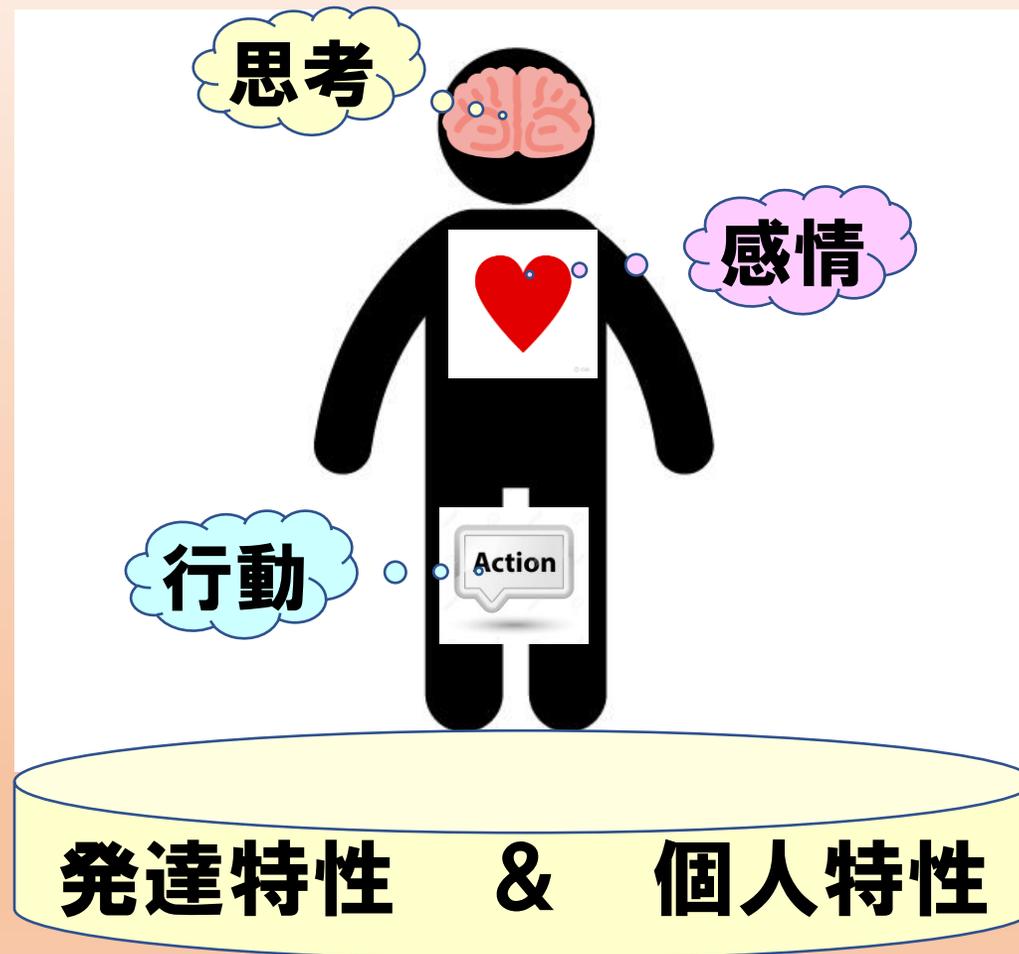


## B (行動)



## C (結果)

きっかけ  
行動の目的  
行動の機能



要求達成  
心理的安定  
心理的満足

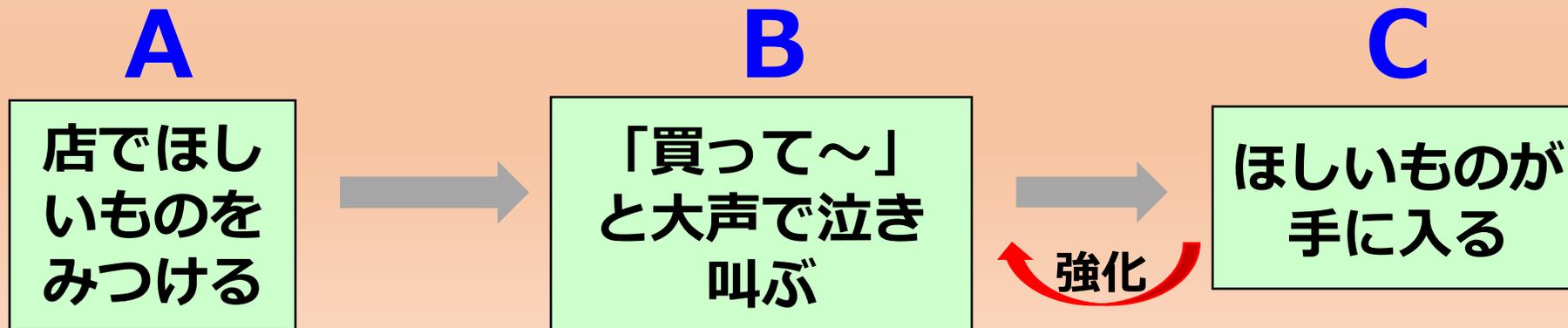
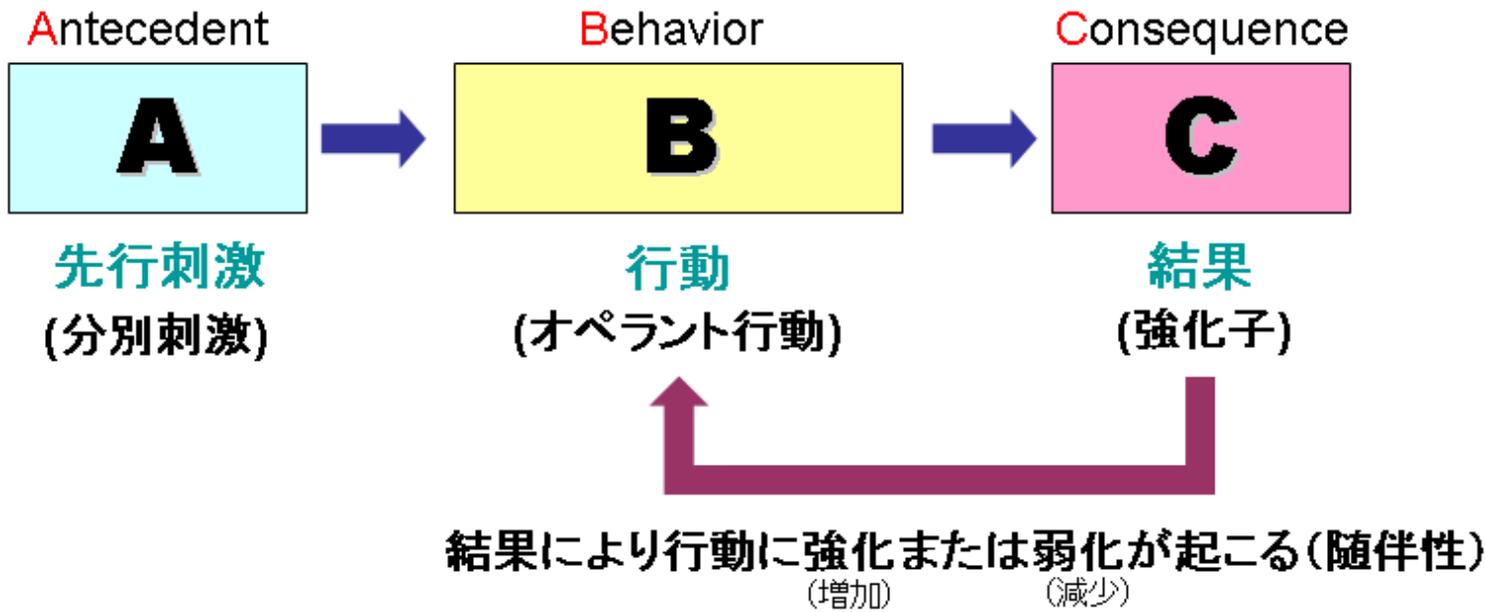
**外的刺激**

もの・ひと・こと

**内的刺激**

強化子・意味づけ

## 三項随伴性 (ABC分析)



## ⑤ 行動問題が起こらない環境設定をする

TEACCH理論の活用

「もの」 ・・・ものを使って環境そのものをコントロールする

例：壁向きに配置した机で学習する

「ひと」 ・・・いわゆる誰が対応するか 人による対応の仕方

例：重要なルールをインプットしてほしい時、管理者に話をしてもらう

「こと①」 ・・・活動内容やイベントのコントロール

例：「今日のおやつコーナー」などスケジュールボードの提示をする

「こと②」 ・・・空間・場所のコントロール

例：学習やおやつの時間に座る席を指定する

「こと③」 ・・・時間帯や時間の長さ、順序などのコントロール

例：本人合わせた、時間入りのスケジュール表を準備する

見える

見えない

## 【好子の種類】

- I 生得性好子（無条件）・・・生命維持に関する基本的欲求を充足  
食べ物、飲み物、におい、味、睡眠、性的刺激 等
- II 習得性好子（条件性）・・・ごほうびであることを後の学習で身に付けた  
タブレットでゲーム、お出かけ、買物、言語的賞賛 等
- III 般性好子・・・この強化子が別の強化子を得るために使用される  
お金、ごほうびシール等
- IV 社会的好子・・・人とのかわりかわりが強化子として機能した場合

プリマック  
の原理 (低→高)

好子の量は少ない方がよい（飽和・遮断）

# 「支援デザイン」とは？



状況と時期の  
適切な見立て

① 行動問題の発生  
を防ぐ

- ・ 問題の分析
- ・ 問題を防ぐ環境設定  
(もの・ひと・こと)



② 望ましい行動を  
身に付けさせる

- ・ 環境設定をあえて緩める
- ・ 成功体験を積む

# ステップ I

## 行動問題の発生を防ぐ



# ① 起きた行動問題の分析

【その行動のもつ意味 = 4つの機能】

機能	生じる結果	なくなる結果
注目	注目が少ない状況 →行動→周囲の注目	いやな注目 →行動→消去
活動 や物	物や活動が入手できない状況 →行動→入手できる。	いやな物や活動 →行動→消去
感覚 刺激	することがない状況 →行動→感覚刺激	いやな感覚刺激 →行動→消去
逃避	いやなことが目の前にある状況 →行動→やらずにすむ	

本人にとって、行動したことにより、どんな結果が得られ、  
どんな機能があるかを適切に推測するのがプロとしての専門性

## ④ 起きた行動問題の分析

## ABA理論の活用

A (状況)

店でほしいものをみつける



B (行動)

「買って～」と  
大声で泣き叫ぶ



C (結果)

ほしいものが  
手に入る

### 【3つのポイント】

レベルⅠ

『A』の状況をつくらない

レベルⅡ

『C』の結果を与えない

レベルⅢ

『B』の行動を変える

① 代わりの行動をつくる

② 望ましい行動をつくる

# ① 不適切行動を減らす 「分化強化」 「消去」

## 【問題行動を減少させる方法】

### ア 分化強化手続き

- ・ 低頻度分化強化
- ・ 他行動分化強化
- ・ 対立行動分化強化
- ・ 代替行動分化強化

### イ 消去手続き

### ウ 刺激の撤去

### エ 嫌悪刺激の呈示

【分化強化とは・・・】

ある行動を強化し、  
同時にほかの行動の強化を  
差し控える方法

# ① 不適切行動を減らす 「分化強化」 「消去」

## 【問題行動を減少させる方法】

### ア 分化強化手続き

- ・ 低頻度分化強化
- ・ 他行動分化強化
- ・ 対立行動分化強化
- ・ 代替行動分化強化

- ・ 低頻度分化強化：できるところまでハードルを下げて強化
- ・ 他行動分化強化：問題行動がなかった場合に強化
- ・ 対立行動分化強化：同時に実行できない代わりにの行動を強化
- ・ 代替行動分化強化：問題行動に置き換える代わりにの行動を強化

# ① 不適切行動を減らす 「分化強化」 「消去」

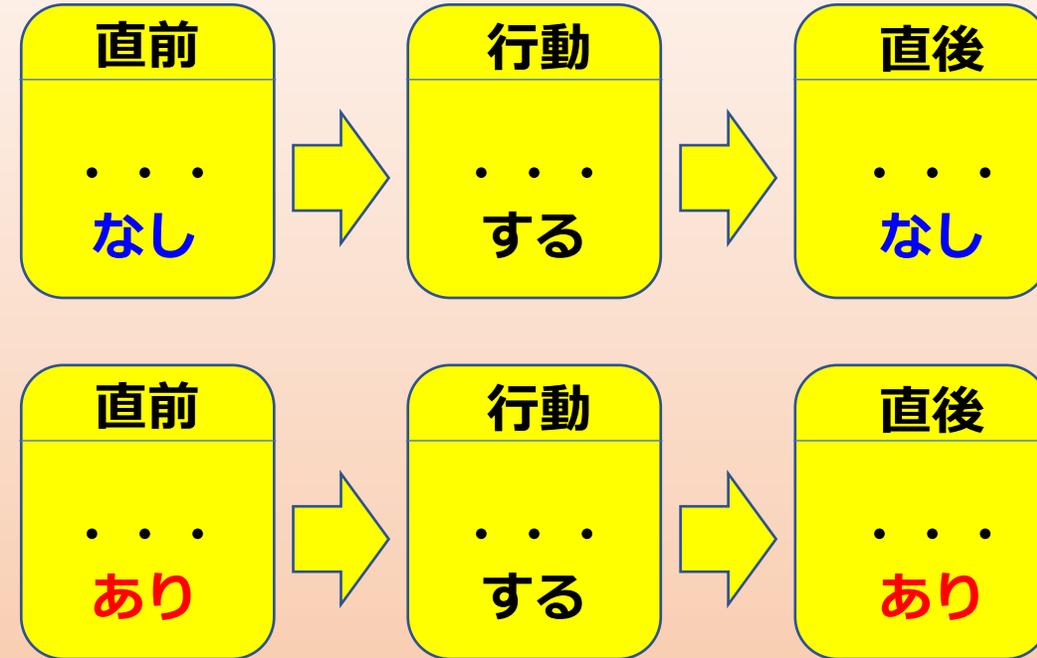
## 【問題行動を減少させる方法】

### イ 消去手続き

## 【消去】

これまで**強化されていた行動**に対して  
強化の随伴性を中止すると  
強化の随伴性を導入する以前の状態まで  
その行動は減少する

## 【消去場面】



※ 「計画的無視」  
強化も弱化もしない  
= なにもしない

# ① 不適切行動を減らす 「分化強化」 「消去」

## 【問題行動を減少させる方法】

### イ 消去手続き

## 【消去の留意点】

「消去バースト」

消去手続きを開始した直後は、一時的に  
問題行動の頻度や強度が爆発的に増える

エクスポージャー療法  
の原理によると

- ・ 不安は一時的に上昇するものの時間とともに減っていく
- ・ 何度も練習していくうちに不安の大きさは全体的に小さくなる

# ① 不適切行動を減らす 「分化強化」 「消去」

## 【問題行動を減少させる方法】

### ウ 刺激の除去

レスポンスコスト：強化子を取り去ること

タイムアウト：強化される機会を一定期間与えなくすること

- ・ 非隔離タイムアウト
- ・ 排除タイムアウト
- ・ 隔離タイムアウト

# ① 不適切行動を減らす 「分化強化」 「消去」

## 【問題行動を減少させる方法】

### Ⅰ 嫌悪刺激の呈示

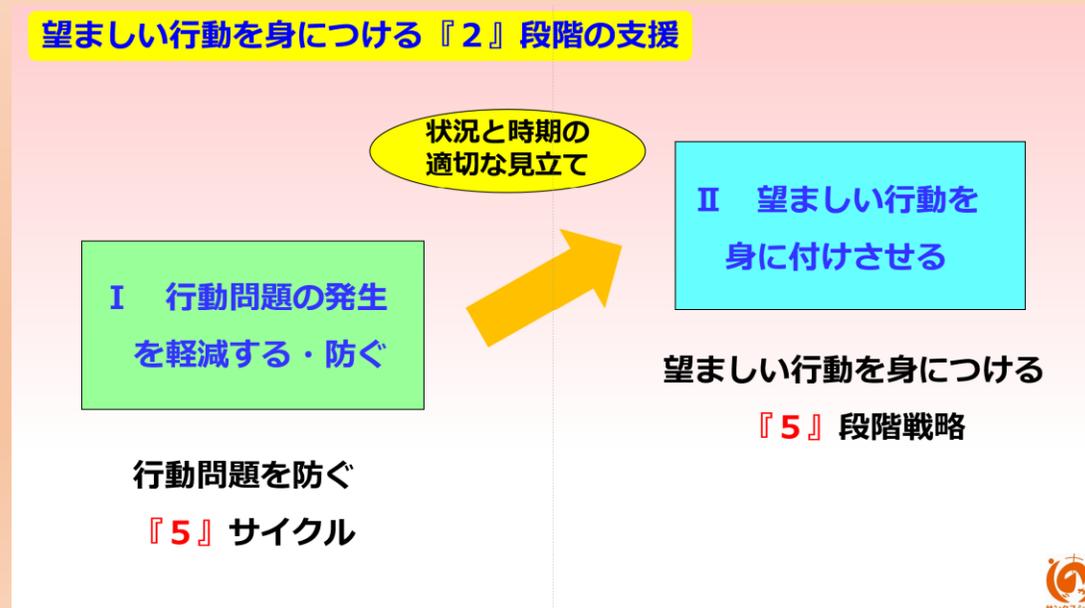
無条件性嫌悪刺激：肉体的な苦痛や不安感を与えるもの

条件性嫌悪刺激：経験を通して嫌悪感を与えるようになったもの

※ 他の方法がうまくいかないときの最後の手段  
直接「虐待」につながりかねない

# ステップ II

## 望ましい行動を身につけさせる



# 望ましい行動を身に付ける段階戦略

- ① 『獲得』 望ましい行動を新たに『獲得』させる
  - これまで持っていなかった行動を出現させ強化する
- ② 『維持』 獲得した行動を『維持』させる
  - 一度獲得した行動がなくならないよう維持する
- ③ 『般化』 獲得した行動を『般化』させる
  - ある限定場面だけで行動が起きるのではなく、他の別の場面でも行動が起きるようにする
- ④ 『自立』 獲得した行動の『自立』度を高める
  - 他者への依存ではなく自分の力で行動する部分を増やす